

荒高生の意見を町政に

町長 提言を参考にさせていただく



菅原俊一 議員

◆荒砥高校生と議員の意見交換会から

意見の反映を

問 第6次白鷹町総合計画策定の町民会議が開かれているが、荒砥高校生の意見を反映できないか。

町長 提言をいただければ、ぜひ参考にさせていただきます。

町内企業情報の周知を

問 就職活動中の方々に町内企業の情報を広く知ってもらう方策は。

町長 荒砥高校の1、2年生を対象にした企業合同説明会の開催や成人式の際、町内製造業の概要一覧の

情報提供をしている。

問 商工会と連携し町ホームページに全業種の企業ガイドブックを作れないか。また、ハローワークへのリンクは可能か。

町長 全業種のガイドブックは企業の理解、各課の協力が必要な事も踏まえ慎重に検討する必要があります。

商工観光課長

ハローワークへのリンクは可能だが、効果を考えながら進めなければならぬと考える。

若者が集う施設に

問 複合施設の町民ラウンジや図書館は若い人たちが日常的に集まる施設になるか。

町長 町民ラウンジは誰もが気軽に立ち寄りくつろげる空間にしたい。図書館は本や文具等が買えるコーナーの設置も検討している。

若者の不安

問 白鷹病院に小児科や産婦人科が無いということが若者の不安の一つ。病児・病後児保育を含めた対応は。

町長 小児科と産科の確保は非常に厳しい状況であるが、経済的な負担軽減をはかる事業や「子育て世代包括支援センター」の設置など切れ目ない支援の提供に努めている。

病児・病後児保育は大変重要な取り組みであると認識しており前向きに検討を進める。

通学路の安全対策

問 街灯が暗く歩道のない通学路や危険な交差点の問題も提起された。交通弱者・歩行者の目線での整備が必要ではないか。

町長 新たな防犯灯設置の要望に対しては、歩行者の夜間の安全を確保することを目的に対策を講ずる。危険な交差点の対応として交通の円滑化と事故防止に向け、拡幅や舗装のカラー化、標識の設置などを行っている。

問 夜の通学路点検を実施してはどうか。

町民課長 暗くの下校もあると思うので、学校などと連携を取り対応していく。

荒砥高校入学者の確保

問 中学生の進路が決まる時期。入学者確保に向けた町長の決意を問う。

町長 荒砥高校の存在をまちづくりの根幹と位置づけ、これまで様々な支援をしてきた。今後変わることもなくさらに荒砥高校が活性化するように入学者の確保に向けて努力していく。



活発な意見交換会



地元企業への就職支援を。